

令和6年度

若者のライフデザイン支援事業

参加大学

- 愛媛大学
- 聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部
- 松山東雲女子大学・松山東雲短期大学
- 松山大学

学生の皆さんと働き方について考え、話し合いました!

次世代を担う若者が、固定的性別役割分担意識を払拭し、自分らしい「働き方・生き方」を選択できる視点を養うとともに、自分が思う人生設計を考えるきっかけをつくるため、令和2年度から市内の各大学・短期大学を対象に実施してきました。令和6年度は、5年間の集大成として、これまで実施してきた事業報告や現状を踏まえながら「まどんな応援宣言事業所」とのグループトークや交流を通し、市内の学生の皆さんに、今後の就活や働き方について考えていただきました。



「まどんな応援宣言事業所認証制度」とは?

女性の登用・職域拡大など女性の活躍推進や男性の育休取得促進など仕事と家庭の両立支援などに取り組むことを宣言した事業所に対し、松山市と(公財)松山市男女共同参画推進財団が認証し、サポートを行うことで、事業所内男女共同参画推進の機運を高めるための制度です。まどんな応援宣言事業所一覧はコムズホームページでチェック!

ホームページ



学生と事業所の意見交換に際して



(コーディネーター)
松山市男女共同参画推進財団
理事長 桐木 陽子

今年度公表されたある全国調査によると、男子学生の7割が将来育児休業を取得したいと回答しています。性別にかかわらず仕事も家事・育児も両立したいと願っているということです。また、「働きやすさ」だけではなく「働きがい」も追求できる職場を探しているということがさまざまな調査により明らかになってきています。



グループトーク(事業所の紹介を聞いて)



育休についての不安に対し、事業所の方に具体的に答えていただき、自分の将来像のイメージができました。

学生さん



今の学生さんはどんなことを企業に対して求めていますか?

事業所さん

福利厚生が充実していること

こんなことを求めています!

安定した給与が大事

身だしなみの自由さ、ありのままの自分でありたい



学生のみなさん

出勤のコストや満員電車で詰まるとの不安

参加者の感想

学生

このような講座を開くことで企業と学生の距離が近くなって良いと思います。合同説明会より率直なお話が聞ける機会となったと感じました。



学生

さまざまな企業の方々の本音や、入社の際にどのような質問をされ、どのように対応したのか等を聞くことができ、今後の就職活動に役立てたいと思いました。



学生

まず、このような就職について考える場に初めて参加したので、これからは今までより積極的に自分の将来や就職について考えることができると感じます。そして、実際に企業の方々に聞きたいことをフラットに聞ける機会は貴重だと思いました。



事業所

選考の場ではない学生さんと話す機会は少ないため、本音が聞ける有意義な時間でした。



事業所

今の学生さんがどのような考え方をもちて就職活動に励んでいるか生の声を聞くことができ、今後の参考になりました。



事業所

とても良かったです。学生さんが思った以上にしっかり自分と向き合い、どうい企業に入りたいのかを考えていることを知ることができました。



まとめ



自分がどのような人生を送りたいかを考える。

学生さんへ

「まどんな応援宣言事業所」は、福利厚生が充実しており、さまざまな事情を抱え、働くことに何らかの制限がある方々への配慮が行き届いていましたね。一方で、企業はやはり業績を上げなければなりません。そのためにも、一人ひとりが常に新しい知識・スキルを吸収することが必要です。学び続けてください。大学での学びが全て将来の仕事につながります。明日からの授業に、これまで以上に真摯に向き合ってください。

ライフデザインについて

自分が大切にしたい「価値観」「強み」はどのようなものであるかを明確にする。それを大切に生きるためのライフデザインを描く。

人生は選択の繰り返し、思いどおりにはいかないこともあるが、正確な情報を入手する、人と直接会ってアドバイスをもらうなどを通して進んでほしい。

事業所の皆さんへ

人口減少が進む中、これまで以上に少ない人数で業務をこなさなければならぬことも多くなっていることと思います。継続的な業務改善と目の前の一人ひとりを大切に育てていただければありがたいです。そして、若い人、とくに女性たちが働きたいと思えるような事業所が増えることを願っています。多様な価値観や多様な知識・能力をもった若者たちが、自らの希望を実現できるような組織づくりを期待しています。住みやすく、働きやすいまち、それぞれの個性や能力を精一杯発揮できるまちになるよう、皆さんとともに手を携えて精一杯取り組んでいきたいと思っています。

ご登壇いただいた事業所

- 株式会社愛媛銀行
 - 株式会社愛媛CATV
 - 株式会社ゆうちょ銀行 四国エリア本部
 - 社会福祉法人 松山市社会福祉協議会
 - セキ株式会社
 - トヨタL&F西四国株式会社
 - パーソルコミュニケーションサービス株式会社 松山サポートセンター (旧 富士通コミュニケーションサービス株式会社)
 - 松山市役所
- (敬称略)

取り組みを一部ご紹介!

弊社は、女性、男性ともに、育児休業取得率100%です。管理者向けの研修資料を配布したり、育休を取得した社員の体験談やインタビューを社内報に掲載するなど、制度を利用しやすい環境づくりを行っています。



介護相談窓口があります。グループ企業の社員の場合は、電話やメールで相談ができます。



キャリアチャレンジ制度があり、それぞれがキャリアを描いて挑戦・成長できるように後押しをする制度が整っています。



各種研修制度が整っており、業務の一環としてさまざまな研修を受講することができます。



企業内託児所を設置しており、子どもをあずけて、安心して働くことができる環境づくりをしています。



子どもの看護のための休暇、介護休暇の制度があり、子育て・介護をしているスタッフが給料を気にせず休みを取ることができます。



弊社の営業職に占める女性の割合は30%です。産休・育休を経て復帰して働く女性社員が多くなってきています。



令和6年度は、管理職の40%が女性です。

